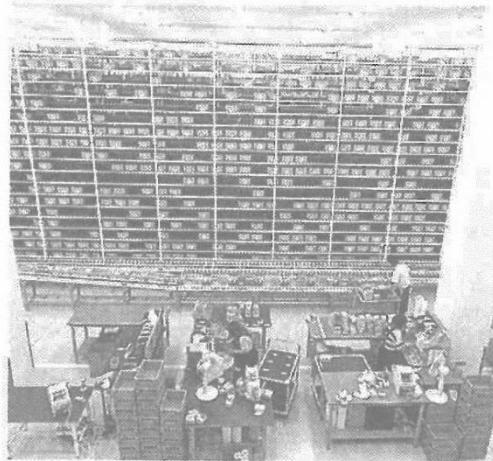


サンコーラインダストリー

検索 個性派企業



9月に稼働した最新鋭の自動倉庫は4~5人の作業員で動かせる
(東大阪市)

ニーズに応えるため、揃(そろ)えた商品数は60万種を数える。住宅から半導体製造装置まで納入先は多様。デザインに合わせて形状も大きく異なる。今も月6千種のペースで増やしており、100万種の大台も視野に入ってきた。

9月中旬、サンコーの物流センター(東大阪市)。10億円近くを投じた待望の新棟「4号棟」が稼働を始めた。目玉は3階の自動倉庫「ロータリーラック」。天井までそびえる19段のラックが、2万種以上のネジが入る5千個以上の収納箱を出し入れする。収納箱の移動はほぼすべてコンピューター制御。手作業はネジの取り出しと計量だけで、特別な知識や経験は不要だ。

4号棟だけではない。1

幅広い産業を陰で支えるネジは景気の先行指標。消費増税前の駆け込み需要を追い風に、2014年2月期の売上高は創業来初の200億円を上回る勢いだ。奥山社長は「ネジ商社に憧れる人はいない」と苦笑いするが、業績好調と働きやすさが魅力になり、最近では年2千人の学生が見学に訪れる人気企業になつている。

II 随時掲載

サンコーラインダストリー

(大阪市)はIT(情報技術)

を使い煩雑な注文を効率良くさばくネジ商社業界のハイテク企業。7千社を超える顧客

ニーズに応えるため、揃(そ

ろ)えた商品数は60万種を数える。住宅から半導体製造装置まで納入先は多様。デザインに合わせて形状も大きく異なる。今も月6千種のペースで増やしており、100万種の大台も視野に入ってきた。

9月中旬、サンコーの物流

センター(東大阪市)。10億円

近くを投じた待望の新棟「4

号棟」が稼働を始めた。目玉

は3階の自動倉庫「ロータリ

ーラック」。天井までそびえ

る19段のラックが、2万種以

上のネジが入る5千個以上の

収納箱を出し入れする。収納

箱の移動はほぼすべてコンピ

ューター制御。手作業はネジ

の取り出しと計量だけで、特

別な知識や経験は不要だ。

4号棟だけではない。1

■本社||大阪市
■従業員||約360人
■創業||1946年
■売上高||188億円
(2013年2月期)

《会社概要》

IT駆使、ネジ60万種揃う

3号棟も全棟がITで“完全武装”され、センター全体で1日に250万本、年6億本のネジを出荷する。ITの徹底活用により、多くても10万種とされる品ぞろえを60万種まで拡大。1年に1本しか売れないネジまでぞろえ、米アマゾンも驚きの「ロングテール」が出来上がった。この品ぞろえが「困ったうサンコー」の評判につながっている。

いきおい、IT投資に毎年多額の資金をつぎ込むことになる。ただ、奥山淑英社長は「投資回収は気にしない」と断言。IT投資は経費削減が目的ではなく、「顧客のニーズをかなえたり、職場を働きやすくするツールにすぎない」と考えている。